

3. 修正の理由

<個別>

当期における売上高につきましては、不動産事業のうち戸建分譲事業において、用地取得競争が厳しさを増すなか、用地取得価格の高騰に対応し、より付加価値の高い商品の供給に努めてまいりましたが、一部のプロジェクトでは販売の遅れが発生したことから、当初計画した販売棟数には至りませんでした。このため、不動産事業の売上は当初計画より 3,359 百万円下回り、10,627 百万円となる見込みであります。

建設事業につきましては、リフォーム受注、法人受注、注文受注において、建築コストの上昇に伴い、契約率が低下したため、建設事業における売上高は当初計画を 102 百万円下回る 8,168 百万円となる見込みです。

これらの結果、その他事業を含めた全体の売上高は、前回予想 22,123 百万円に対し 18,987 百万円と 3,136 百万円減少する見込みであります。

利益面につきましては、粗利益率は計画を下回りましたが、販売費および一般管理費等の経費削減に努めた結果、284 百万円の経常利益予想に対し、41 百万円の経常利益と 243 百万円の差異となる見込みであります。

また、当期純利益につきましては、前回予想 230 百万円に対し、74 百万円と 156 百万円の差異となる見込みであります。

<連結>

主に個別財務諸表提出会社（当社）の業績予想の修正によるものであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上